

配偶者の金融資産保有額を把握していない中高年者は半数に近い：  
「くらしと仕事に関する中高年インターネット調査」の調査結果（その3）

2021年10月19日

高山 憲之（公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構理事長・一橋大学名誉教授）

## 1. 問題の所在

配偶者の老齢年金受給については、すでに高山（2021b）で、中高年者本人がどこまで把握しているかを紹介した。本稿では、配偶者の年収額や金融資産の保有額等について、中高年者本人がどの程度まで知っているか、その調査結果を報告する。利用したデータは「くらしと仕事に関する中高年インターネット調査」（2021年1月実施。注1）である。ここで、中高年者とは、年齢が60～74歳の人を指す。

## 2. 設問・回答等

### 2.1 配偶者の年間収入額

設問： あなたの配偶者の年間収入（2020年分）が、どのくらいだったか、あなたは、それを把握していますか。

回答： はい 61%      いいえ 39%

（有配偶の中高年男女に対する設問。有効回答は2265サンプル）

筆者コメント： 直近における配偶者の年収額を知らない中高年者が4割近くに及んでいた。

### 2.2 配偶者の週あたりの勤務時間

設問： あなたの配偶者は直近時点（2020年12月）において、週に何時間くらい働いていましたか（残業時間込み）。あなたは、それを知っていますか。

回答： はい 76%      いいえ 24%

（調査時点で配偶者が収入を伴う仕事をしていた中高年男女に対する設問。有効回答は983サンプル）

筆者コメント： 直近分に関するかぎり、配偶者の週あたり勤務時間数を中高年者の4人に3人は把握していたものの、それを承知していない人が25%弱いた。

### 2.3 配偶者の退職一時金受給の有無

設問： 配偶者が定年で退職したとき、退職一時金を受給したか否かを、あなたは知っていますか。

回答： 受給した 50%      受給しなかった 12%      分からない 38%

（定年退職経験のある配偶者がいる中高年男女に対する設問。有効回答は725サンプル）

---

（注1） この調査の概要は高山（2021a）の付論で述べられている。

筆者コメント： 配偶者が定年退職時に退職一時金を受給したか否かを把握していない中高年者が4割近くもいた。

## 2.4 配偶者の金融資産保有額

設問： 配偶者名義の金融資産が総額でどの位になっているかを、あなたは知っていますか。

回答： はい 34%      いいえ 47%      答えたくない 19%

(有配偶の中高年男女に対する設問。有効回答は 2265 サンプル)

筆者コメント： 配偶者が調査時点で保有していた金融資産総額を把握していない中高年者の割合は半分に近かった。ただし、本人保有の金融資産総額が、どの位になっているか、それが分かっていない中高年者も4人に1人の割合でいた(有効回答は 3000 サンプル)。住宅資産(注2)も含め、直近における全体としての資産保有額を把握していない中高年者が総じて少なくなかったようである。

## 3. 含意

配偶者分の年金に関連する情報(受給月額や受給開始時期など)を把握していない中高年者本人の割合は、少なくなかった。くわえて、直近における配偶者分の年間収入額・週あたりの勤務時間数・金融資産保有総額などが、どの位であったかを把握していない中高年者本人の割合も、少なくなかった。

このような事実を踏まえると、老後の生活を中高年夫婦が、どのように設計しているかについて、単純に想定する(夫婦が一緒になって合同で設計している)ことは今日、必ずしも適切ではない。

## 参考文献

高山憲之(2021a)「日本の中高年者は、本人が受給する予定の老齢年金月額がいくらになるかを知っているか：“くらしと仕事に関する中高年インターネット調査”の調査結果(その1)」年金シニアプラン総合研究機構、コラム欄、2021年10月6日。

<https://www.nensoken.or.jp/wp-content/uploads/nsc08.pdf>

高山憲之(2021b)「配偶者が受給中の老齢年金月額を把握している中高年者は56%：“くらしと仕事に関する中高年インターネット調査”の調査結果(その2)」年金シニアプラン総合研究機構、コラム欄、2021年10月12日。

<https://www.nensoken.or.jp/wp-content/uploads/nsc09.pdf>

---

(注2) 持家に住んでいる中高年者の67%は、宅地を含む持家資産の保有額が調査時点で、どの位になっているかを把握していなかった(有効回答は 2587 サンプル)。